

夏も枯れずに生える草がいい

先月号で紹介した自然に生える草に引き続き、今回はタネや苗を購入して植える草を紹介したいと思います。



4

ミカンは草でうまくなる

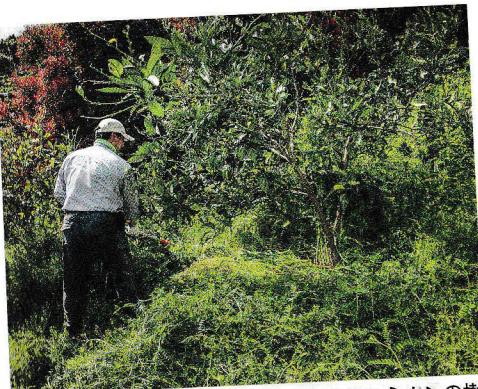
減肥にいい草、害虫を抑える草、年中緑で覆う草

和歌山・岩本 治

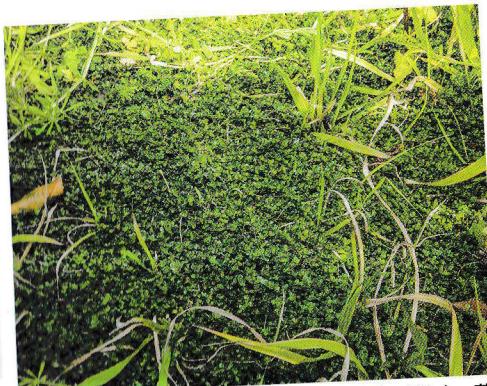
筆者とアートセカ。20cmほどの丈で3~11月にタンポボのような黄色い花が咲く。踏圧に強く丈夫（断りがないかぎり赤松富仁撮影）

敷草になると滑りやすいイネ科の草

最初に試したのはナガナガバクワサ



3月下旬のヘアリーベッチ。ミカンの樹に絡みつくので三角ホーで引き下ろす



クリーピングタイム。草丈が低く、葉も小さい

ルーツグラスです。フルーツグラスのほうが勢よく長く伸びるので、草量が多いと感じました。どちらもイネ科で以下の特徴が共通しています。

秋にタネを播けば簡単に発芽し、春から一気に伸び始めて6月に勝手に倒れて枯れます。敷草状態になつて地表を覆うので夏草を抑え、秋にまた芽を出します。夏草を抑えるにはいいのですが、傾斜地で敷草の上を歩くと、とケガが怖いので、これが大きなデメリットです。タネがたくさんでて靴に入るとチクチクするのも気になるところです。

また、定着するまでの3年ほどはタネを何度も撒く必要があります。高糖系では着色も糖度もいい結果でしたが、高糖系では初夏にチツソ不足でミカンの葉が黄緑色になつてしまいまし

減肥するならマメ科の草
空気中のチツソを固定する根粒菌と共に生するマメ科では、ヘアリーベッチ（クサフジ）とクローバ（シロツメクサ）を試しました。

ヘアリーベッチは反あたり10kg近く、チツソを供給できるので、減肥にはこれが一番。タネを播けば、肥料を与えないでも増えていきます。春と秋によく伸び、とくに春は一面に広がつて畠にかく滑つて転びやすい。高齢になるとケガが怖いので、これが大きなデメ

リットです。タネがたくさんでて靴に入るとチクチクするのも気になるところです。

他の草を抑えるアレロハシー成り得ていますが、夏は枯れて夏草が生えてしまうことが多くあります。また、ミカンの樹に絡みつく量が半端ではなく、それを引き下ろす作業が必要です。

クローバはタネが安く手に入りますが、普通に撒くと生えてくる量はごくわずかです。春か秋の播種前にバーク堆肥とタネを混ぜ合わせ、レークでスジをつけてから30cm間隔でスジ播きし、軽く土をかぶせるとしつかり生え

土の免疫力を高め地力向上！

果樹・野菜・稻…

あらゆる作物に！



乳酸菌土壤改良剤の決定版！

土と人と環境にやさしい

- ①減肥・減農薬で低コスト農業の実現！
- ②土壤病害菌の生育を抑制！

総販売元・製造元

薩摩の農文化を世界へ

日本有機株式会社

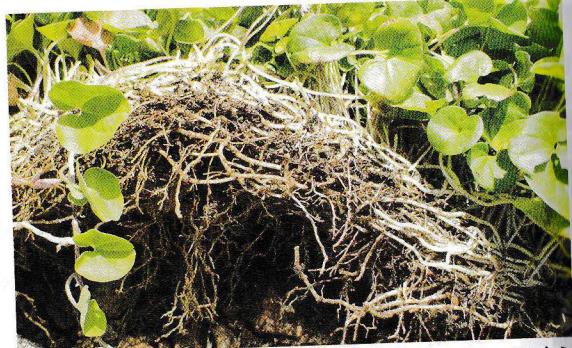
〒899-8604

鹿児島県曾於市末吉町諒訪方 4122

TEL 0986-76-1091
FAX 0986-76-6554

<https://www.nihonyuki.jp/>

果樹

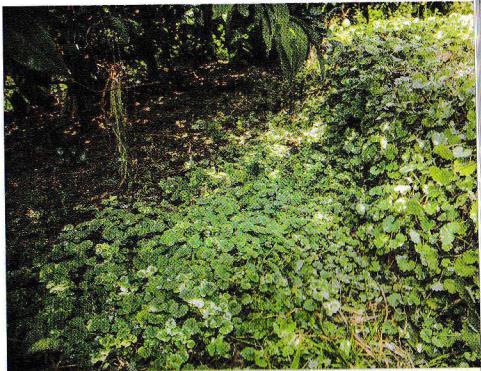


播種して3～4年後のダイカンドラの根。地表から20cmくらいに根がぎっしり集中していて、ミカンの樹が肥料分を吸えない（筆者撮影）

シソ科のクリーピングタイムと斑入りカキドオシ（グレコマ）は、香りの害虫抑制効果に期待しています。クリーピングタイムはタネも苗もありますが、タネを播くと生えてこないことが多いので、プランターで育てるか、苗を買って植えるのがいいです。草丈が低く、定着するとランナーで広がり、春と秋に株分けや挿し木で増やせます。斑入りカキドオシは、耐暑・耐寒性が強くほぼ一年中生えています。ランナーで広がっていくので手間がかかりません。

香りで忌避効果、シソ科の草

てきます。すると、一年中丈が10cmほどの緑のクローバが生え、ほふく性があるので石垣の隙間にも根を張り段差を下つて広がっていきます。ただ、堆肥化する量が少なく土壤表面はやわらかくなりませんでした。



いい香りがする斑入りカキドオシ。木陰でも生える



石垣に生えているヒメツルソバ。どこにでも生えて、ピンクのかわいい花が咲く

年に緑で一面を覆う草

キク科で南アメリカ原産のアーテクトセカはタネができる、苗を植えるとイチゴのようにランナーで根を下ろしながら増えていきます。ほぼ一年中緑のまま、他の草が生えるのを抑えます。冬の低温や干ばつ状態が続くと地上部は枯れますが、気温が上がり雨が降ればすぐ復活します。梅雨前か秋雨の前半に株分けしながら増やしていく作業が必要です。

ダイカンドラ（ダイコンドラ）はタネで増やせます。レーキで畑の表面を

少し掘つてからタネを播き、軽く土をかぶせると、ほぼ通年緑のままで地面を覆ってくれます。ただ、3～4年経つと根の層が厚くなり養分競合するので、とくにミカンの苗木畑には不向きです。土手や法面など樹のない場所での利用がいいかもしれません。

現在一番有望なのは、クマツヅラ科のヒメワダレソウです。草丈も低く春から秋まで緑で覆ってくれます。詳しくは来月号で紹介します。